



# 高校生のための金融リテラシー講座

---





## 当てはまるものはありますか？

- 一人暮らしをしたい
- 海外留学したい
- やってみたい仕事がある
- お金を上手に貯めたい
- クレジットカードを持ちたい
- 「確実に儲かる方法がある」と聞いた



## 金融リテラシーの定義

『金融に関する健全な意思決定を行い、究極的には**金融面での個人の良い暮らし(well-being)**を達成するために必要な、金融に関する意識、知識、技術、態度及び行動の総体』

OECD/INFE「金融教育のための国家戦略に関するハイレベル原則」（2012/06）



## 金融リテラシーが高いと、

- ✓ 家計管理がしっかりしている
- ✓ 計画を立ててお金を準備しているので、やりたいことを実現しやすい
- ✓ 緊急時の備えがあるので、危機（自身のケガや病気、不景気による収入減など）に強い
- ✓ 詐欺や多重債務などの金融トラブルにあうことが少ない
- ✓ **経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる**



政府広報  
消費者庁 消費者庁 消費者庁 消費者庁

×  
新成人キャンペーン

新成人たちよ、  
未来をつくれ。

18歳解禁  
DON'T BE AFRAID!

2022年4月。成年年齢は、18歳になる。

成年年齢を20歳から18歳に引き下げること等を内容とした「民法の一部を改正する法律」が2022年4月1日から施行されます。

変わること	変わらないこと	注意してほしいこと
親の同意を得ずに、様々な契約が一人でできるようになります。	飲酒・喫煙・競馬等の投票券の購入の年齢制限は、20歳のままです。	一人で契約を結ぶようになる反面、個人で契約を守る責任が生じます。消費者トラブルにはくれぐれもご注意ください。
<small>契約・賃貸・自動車・スマートフォン</small>	<small>飲酒、喫煙、競馬、オートレース、オートレースの投票券</small>	<small>契約内容や「誰がやる」に気をつけ、消費者トラブルに気をつけてください。</small>

政府広報 成年年齢引き下げ

## 成年年齢引下げ

18歳になると、できるようになること：

- 親の同意がなくとも契約できる
  - 携帯電話を契約する
  - 一人暮らしの部屋を借りる
  - クレジットカードをつくる
  - ローンを組む など

20歳にならないと、できないこと：

- 飲酒する
- 喫煙する
- 競馬等の投票券を購入する など



## 本講座の目的

- 自分の将来の暮らし方について考える  
(ライフプランニング)
- そのために必要なお金と、準備の方法  
(家計管理・資産形成など) を学ぶ
- 金融トラブルにあわないよう、手口や対処法  
を知る



# 目次

- 1** 家計管理とライフプランニング  
～働いて「稼ぐ」とことと将来設計について
- 2** 「使う」
- 3** 「備える」～ 社会保険制度と民間保険
- 4** 「貯める・増やす」～ 資産形成
- 5** 「借りる」
- 6** 金融トラブル
- 7** まとめ



1

# 家計管理とライフプランニング

～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について





## クイズ



就職先から月給は20万円と言われた。毎月20万円までなら使って良い。○か×か？





## 1-1. 家計管理

家庭生活を営むための収入と支出の運営を管理することを「**家計管理**」といいます。

高校生の場合

### 収入

小遣い  
お年玉  
アルバイト代



### 支出

参考書・雑誌 洋服  
家計補助 塾代  
友人との遊び ゲーム  
など



大学生や社会人になって、ひとり暮らしをする場合、  
どのようなお金が必要でしょうか？



## 1-2. 家計管理

### 大学生の場合

#### 収入

仕送り  
アルバイト代  
奨学金



#### 支出

食費	飲食などに必要なお金
住居費	家賃など
水道光熱費	電気・水道・ガスの料金
通信費	電話やインターネットの料金
交通費	移動するのに必要なお金
被服費	洋服など
教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金
そのほか	冠婚葬祭や医療費など



+

#### 収入

給与  
賞与(ボーナス)

#### 貯蓄

使わずに貯めておくお金



## 1-4. 生涯の収入と支出

- (1) 「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを、「**ライフデザイン**」といいます。

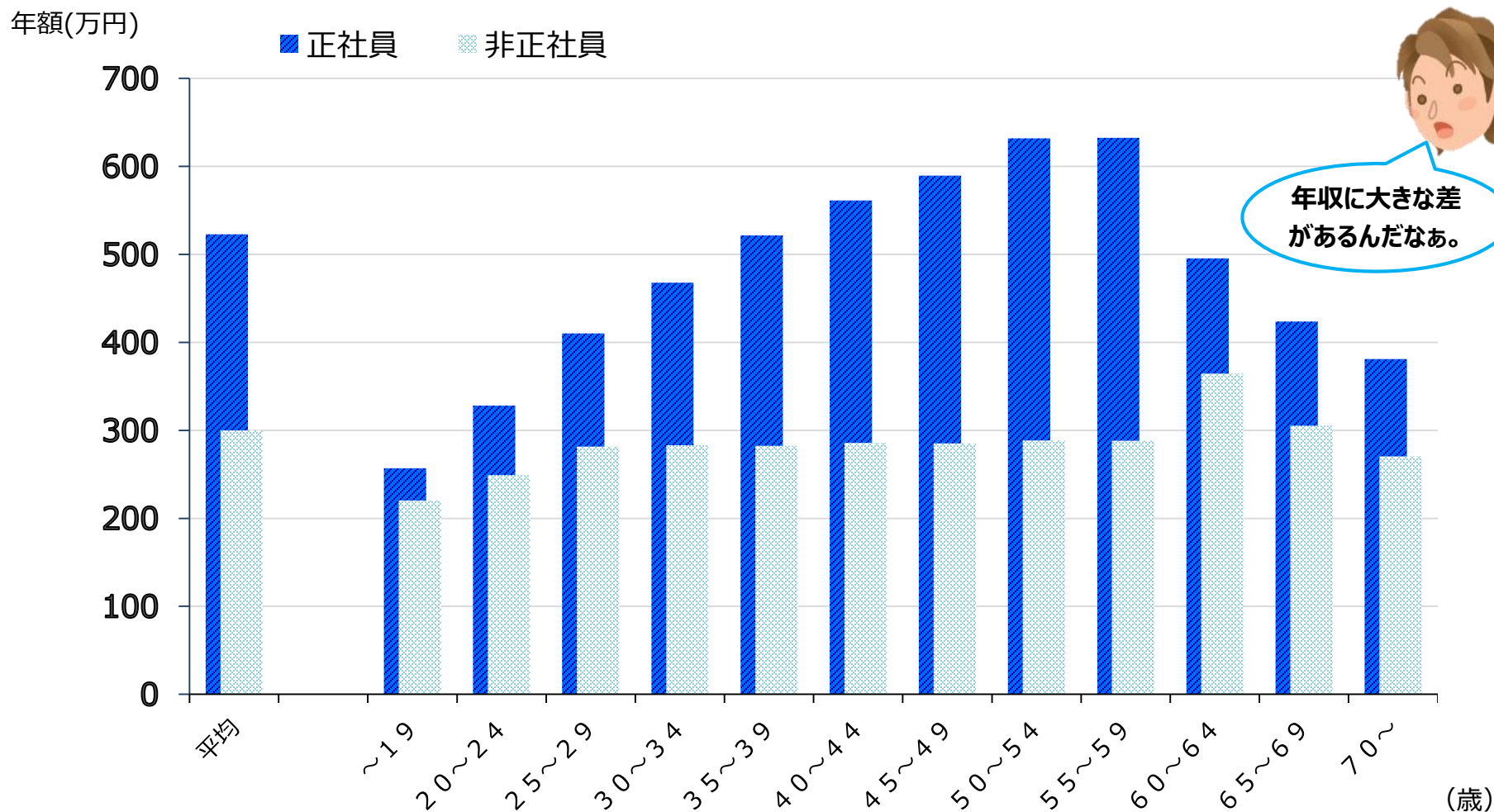
---
- (2) **将来の夢、将来やりたいこと、希望するライフデザイン**のために、どうお金を準備するか、考えましょう。

---
- (3) 生涯の**収入、支出のイメージ**をつかみましょう。**収入と支出のバランスをとる**ことが大切です。

---



## 1-7. 雇用形態による年収の違い

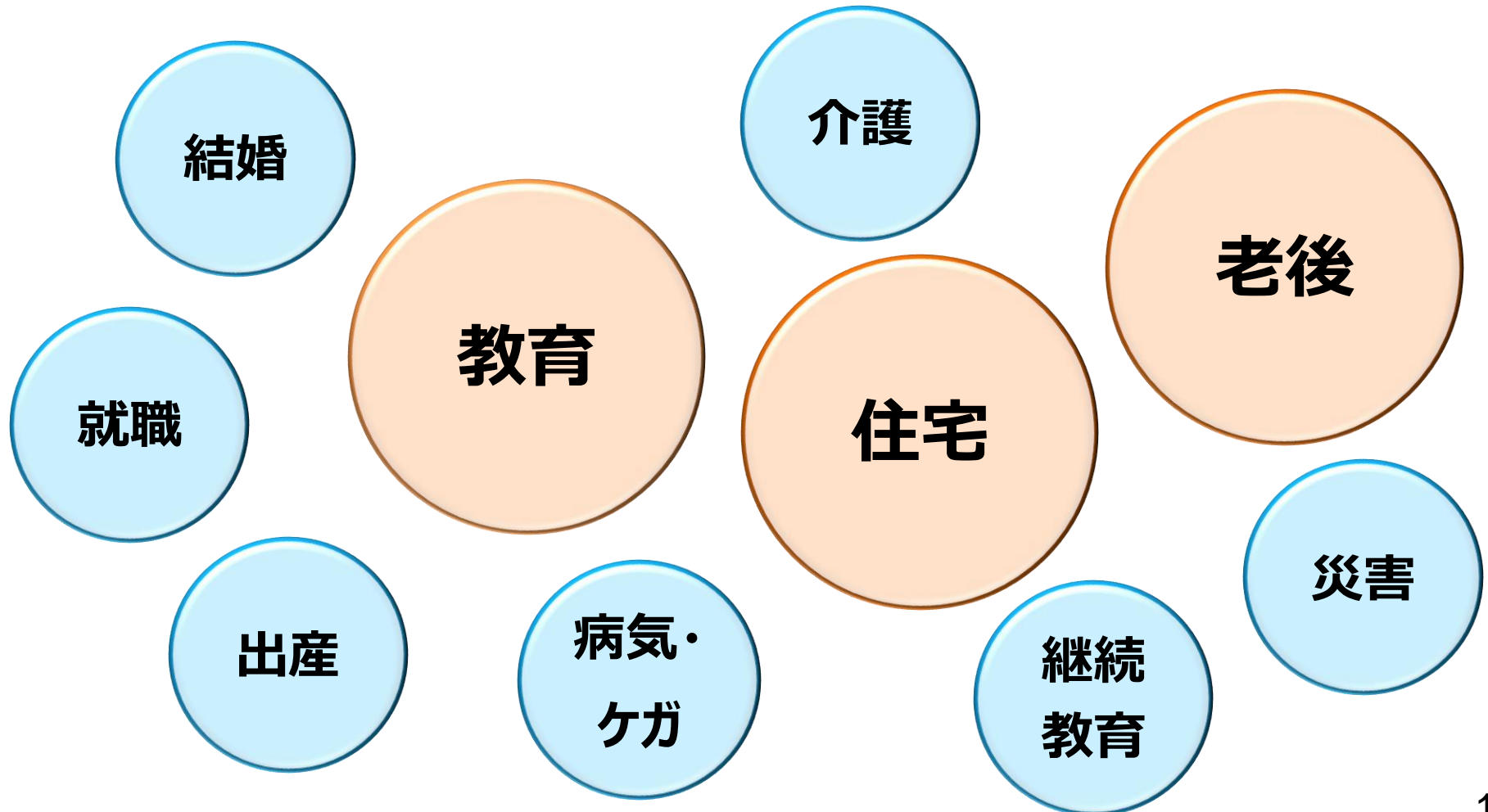


推定年収 = 「きまって支給する現金給与額」×12ヶ月 + 「年間賞与その他特別給与額」として試算  
(出所) 厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」



## 1-8. 人生の3大費用とは

一般的に、人生の3大費用は、「**教育**」「**住宅**」「**老後**」費用とされています。  
(もちろん、個人によって、出来事や費用の大きさ、支出の順序には違いがあります)





## まとめ（1章のポイント）

- (1) 家庭の収入と支出を管理（**家計管理**）し、**貯蓄**をしましょう。

---

- (2) 将来どんな人生を送りたいかを考え、具体的に人生の希望や計画を時系列に描いてみましょう。（**ライフプランニング**）

---

- (3) 年収の違いを含め**多様な働き方**を知ったうえで、自分がどのように働くかを考えましょう。

---

- (4) **「教育」「住宅」「老後」**という人生の3大費用に対して、計画的に準備しましょう。

---



## 2 「使う」

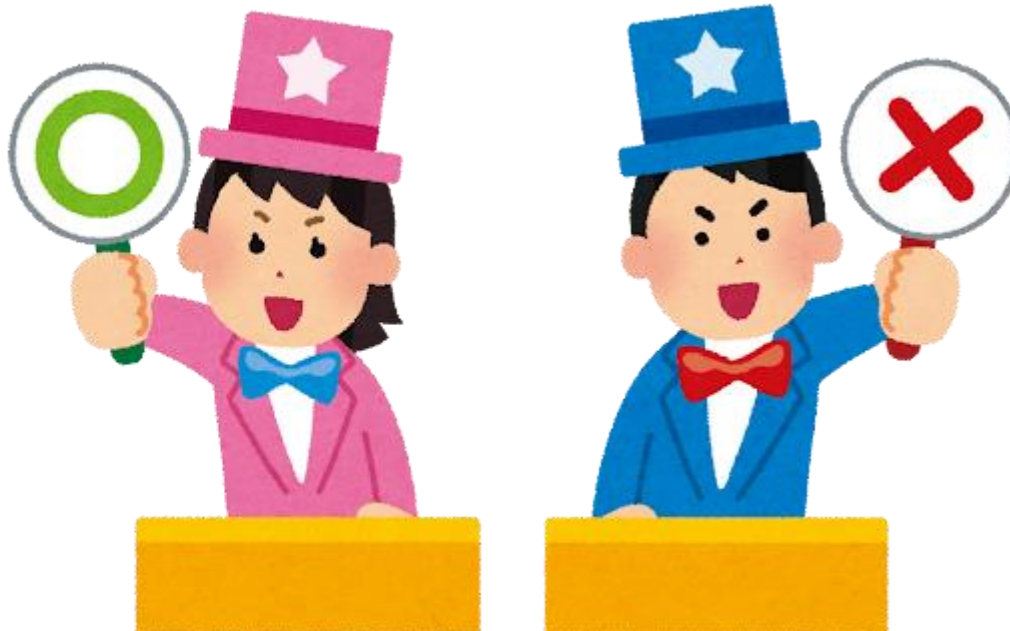




### クイズ



毎月残った金額を貯蓄していくと、貯蓄を増やしやすい。  
○か×か？





### 2-1. ニーズとウォンツ

- (1) 「必要なもの」と「欲しいもの」を区別し、お金の使い方を考える時は、「それは必要なもの（ニーズ/needs）なのか、欲しいもの（ウォンツ/wants）なのか」、自問してみましょう。
- 
- (2) 「必要なものを優先する」（欲しいものは余裕があるときに買う）ことを考えてみましょう。
-



### 2-2. 家計管理のポイント

✕  $\text{収入} - \text{支出} = \text{貯蓄}$

○  $\text{収入} - \text{貯蓄} = \text{支出}$



## 2-3. キャッシュとキャッシュレス

### (1) キャッシュ

物理的な現金（紙幣・硬貨）

現金



### (2) キャッシュレス

現金の授受をせず、支払や受取をデジタル化された価値の移転で行うこと

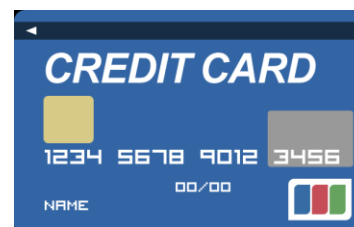
電子マネー



デビットカード



クレジットカード



QRコード





### 2-4. キャッシュレス決済のメリット・注意点



キャッシュレス決済には、  
どのようなメリット・注意点があるでしょうか？

#### メリット

- ✓ 現金をたくさん持ち歩かなくてよい
- ✓ ATMに立ち寄る回数が減る
- ✓ お金のやり取りが簡単
- ✓ 何にいくら使ったか、アプリで確認できる など

#### 注意点

- ✓ 使った実感が湧きにくいので、使いすぎてしまいやすい
- ✓ 店舗によって利用できないこともある
- ✓ 停電時などに使えない
- ✓ 不正送金など犯罪への不安 など



### まとめ（2章のポイント）

- (1) 「必要なもの（ニーズ）」と「欲しいもの（ウォンツ）」に分けて、お金を賢く使いましょう。
- 

- 家計管理では、**収支を黒字に**することが基本です。先に収入から一定額を貯蓄に回し、支出をやりくりするとお金が貯まりやすくなります。
- 

- (3) **キャッシュレス決済**のメリット・注意点を知り、自分に合った使い方を考えましょう。
-



### **3 「備える」～ 社会保険と民間保険**



## クイズ



実際にある保険はどれ？

- ① ペットの病気やケガの治療費を補償する保険
- ② 旅行先が雨だったら旅行代金が戻ってくる保険
- ③ ライブに行けなくなってしまった時にチケット代が戻ってくる保険







## 3-1. 様々なリスク

人生には、病気やケガ、火災や事故など、様々なリスクがあります。  
例えば、



バイクで転倒してケガをした



自転車で他人にぶつかってケガをさせてしまった



様々なリスクに対し、どうやって備えるとよいでしょうか？



## 3-2. 保険の仕組み

様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金を出し合って、必要なお金が支払われるという仕組みが「**保険**」です。





### 3-3. 社会保険と民間保険

- (1) 日本には、社会基盤として**社会保険制度**\*があります。

\* 年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労災保険の制度

- (2) ご自身のライフプランにあわせて、社会保険と**資産形成**や**民間保険**（生命保険、損害保険）の利用を組み合わせるとよいでしょう。

**生命保険**・・・人の生死や病気・ケガを保障する保険

**損害保険**・・・物が壊れたときの損害などを補償する保険



## まとめ（3章のポイント）

- (1) 様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金を出し合って、必要なお金が支払われる仕組みが「**保険**」です。

---
- (2) 日本には社会基盤としての**社会保険**制度があります。

---
- (3) 民間保険には、**生命保険**（人に対する保険）と**損害保険**（モノに対する保険）があります。

---
- (4) ライフプランに合わせて、**社会保険**、**資産形成**、**民間保険**の利用を組み合わせてみましょう。

---



## 4 「貯める・増やす」～ 資産形成



### クイズ



確実に儲かるという投資を紹介され、リスクがないなら安全だと思って始めた。○か×か。





### 4-1. どうして資産形成が必要なのか？

- まずは家計管理をしっかり行い、貯蓄しましょう
- ただ、超低金利のもとでは、預貯金ではお金は増えません
- 物価上昇（インフレ）すると、貯蓄の価値が目減りする可能性があります
- ライフプランの選択肢が多様化し、一人一人が自由に生きる時代です



**目的別に金融商品を活用しながら、皆さん一人一人が自分に合った資産形成を行い、将来に向けて準備していきましょう。**  
**語学やPCスキルを学ぶ、資格を取得するなど自己投資を行い、稼ぐ力を高めることも大切です。**



## 4-2. 利子と金利

### (1) 利子 (利息)

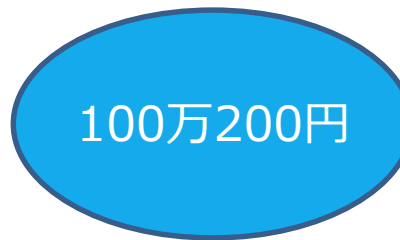
借りたり貸したりしたお金の、一定の割合で支払われる対価 (金額)



### (2) 金利 (利率)

貸し付けたり借りたりした資金に対する対価の利率 (%)

例) 金利0.02%で100万円を銀行に預ける



200円が  
利子

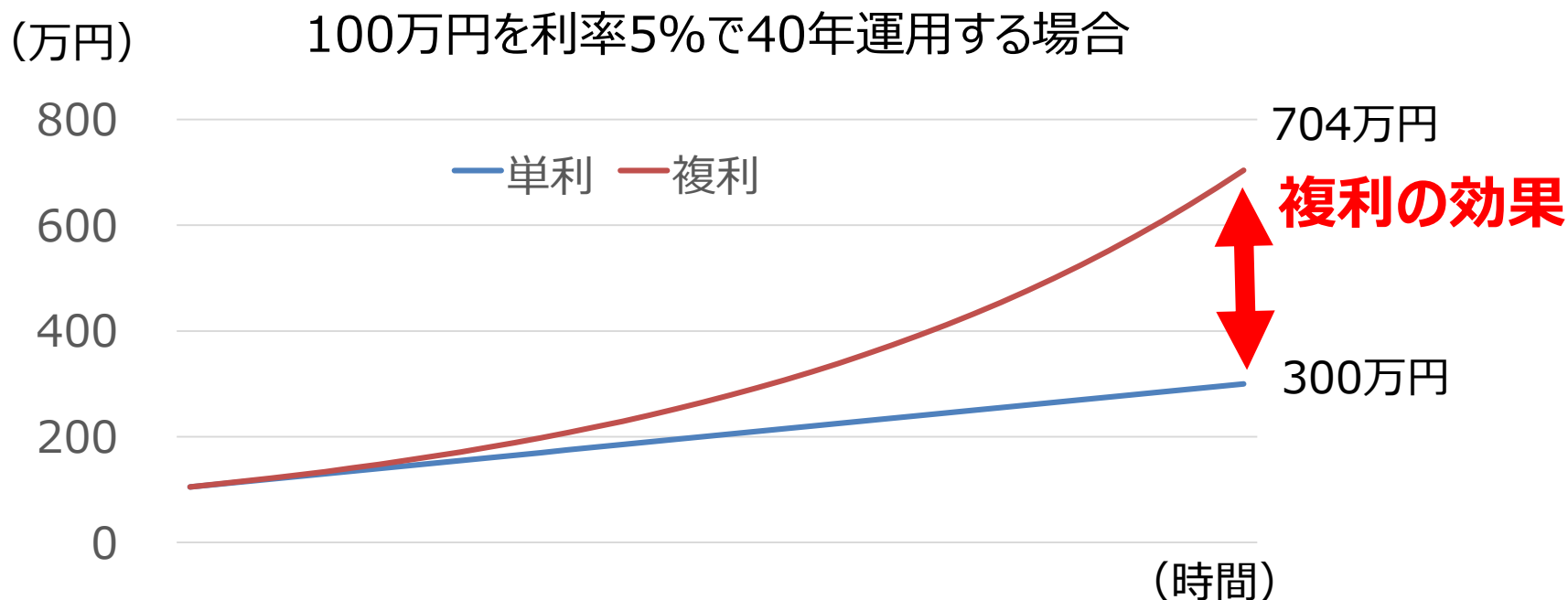
お金を預ける時は、金利が高い・低いどちらが良いですか？  
お金を借りる時は、金利が高い・低いどちらが良いですか？





## 4-3. 単利と複利

- 最初の元本のみに利子がつくことを「**単利**」と呼びます
- 元本のみならず、利子も運用すれば、その利子にも利子がつくことを「**複利**」と言います

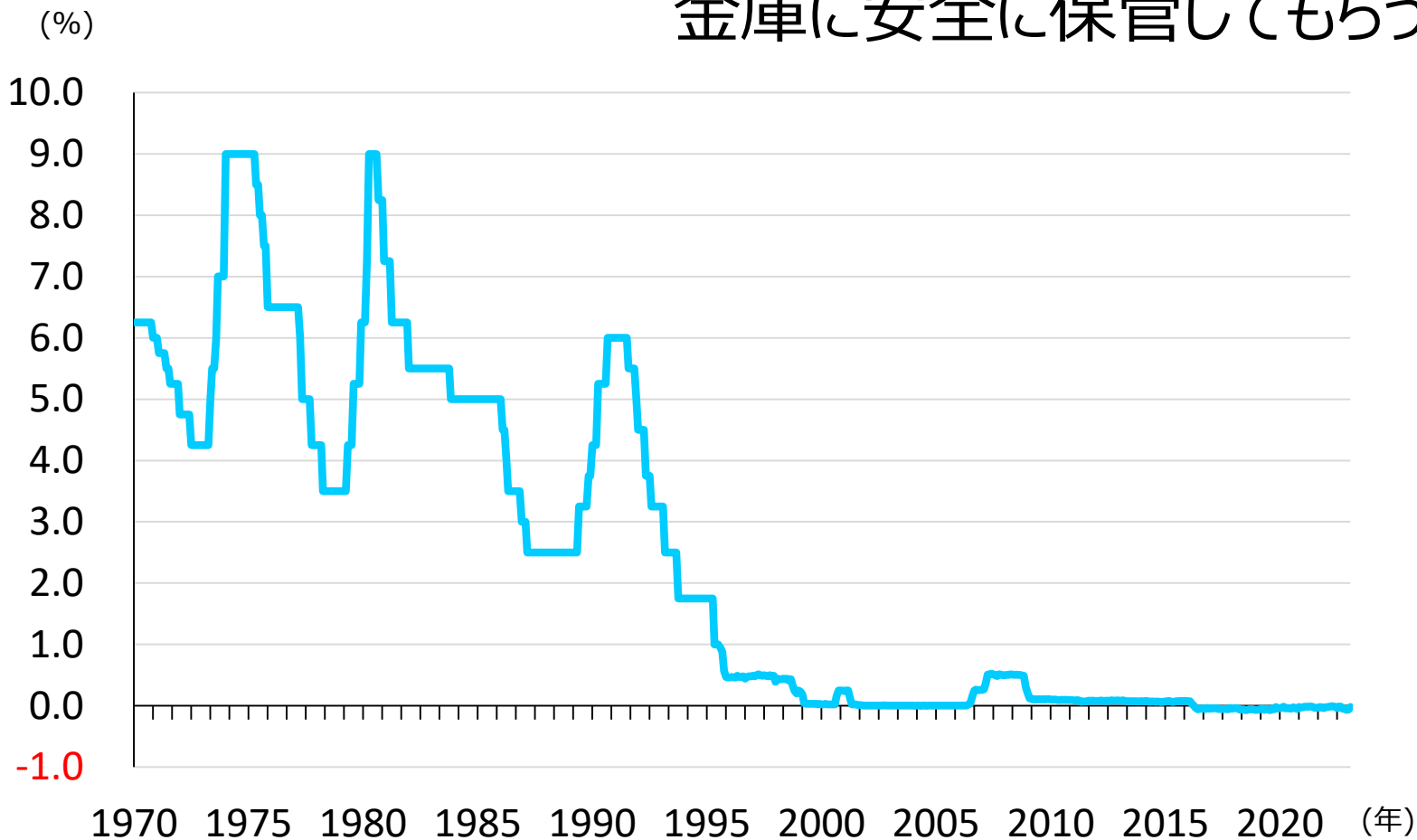


複利の効果は、金利が高いほど、期間が長いほど、大きくなります。



## 4-4. 金利の推移

銀行に預ける = 現在の金利は、ほぼゼロ  
金庫に安全に保管してもらう



(出所) 日本銀行

(注) 1995年6月までは公定歩合（基準貸付利率）、それ以降は無担保コールO/N物レートの月中平均金利



## 4-5. 金融商品の3つの基準

どのくらい利益  
が期待できるか

収益性

3つの基準すべてを完全  
に満たす金融商品はない

安全性

流動性

元本が減らないかどうか

お金を引き出しやすいかどうか

**元本**とは、金融商品の購入・投資に  
充てた資金の額。いわゆる元手です。



## 4-6. 主な金融商品の特徴①

### 預金 貯金

- ・ 銀行等にお金を預けること
- ・ 給与の受け取り、公共料金の引き落としなどでも利用
- ・ お金の引き出しが簡単（銀行やコンビニのATMなど）
- ・ 元本保証あり（各金融機関で元本1,000万円までと

その利息)

**元本保証**とは、金融商品の購入・投資に充てた資金が減ることはないということ。



⇒ 預金・貯金は、一般的に、**収益性は低い（△）**が、**安全性・流動性は最も高い（◎）**。



## 4-7. 主な金融商品の特徴②

### 債券

- ・ 国や会社にお金を貸すこと
- ・ 定期的に利子が支払われ、満期がくれば額面金額を受け取ることができる
- ・ 国が発行するものを「国債」  
会社が発行するものを「社債」という
- ・ 発行した会社等が倒産すると、返済されない可能性がある

**(元本は保証されていない)**



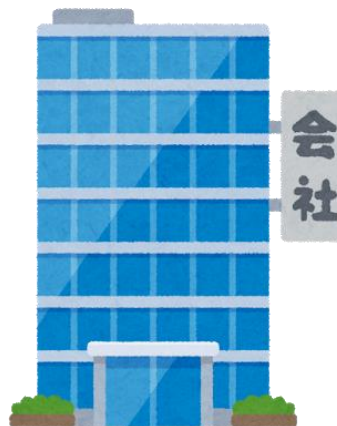
⇒ 債券の**安全性は、国債は高く（◎）、社債は発行企業次第**。  
一般的に、**流動性は低く（△）、収益性は、預金より高く、株式より低い（○）**。



## 4-8. 主な金融商品の特徴②

### 株式

- ・ 購入者（株主）は会社の一部を所有することになり、会社はお金を返す必要はない
- ・ 会社が上げた利益に応じて配当などを受け取ることができる
- ・ 会社の業績や、国内・海外の景気などによって、株式の価値（株価）も変動する  
**（元本は保証されていない）**



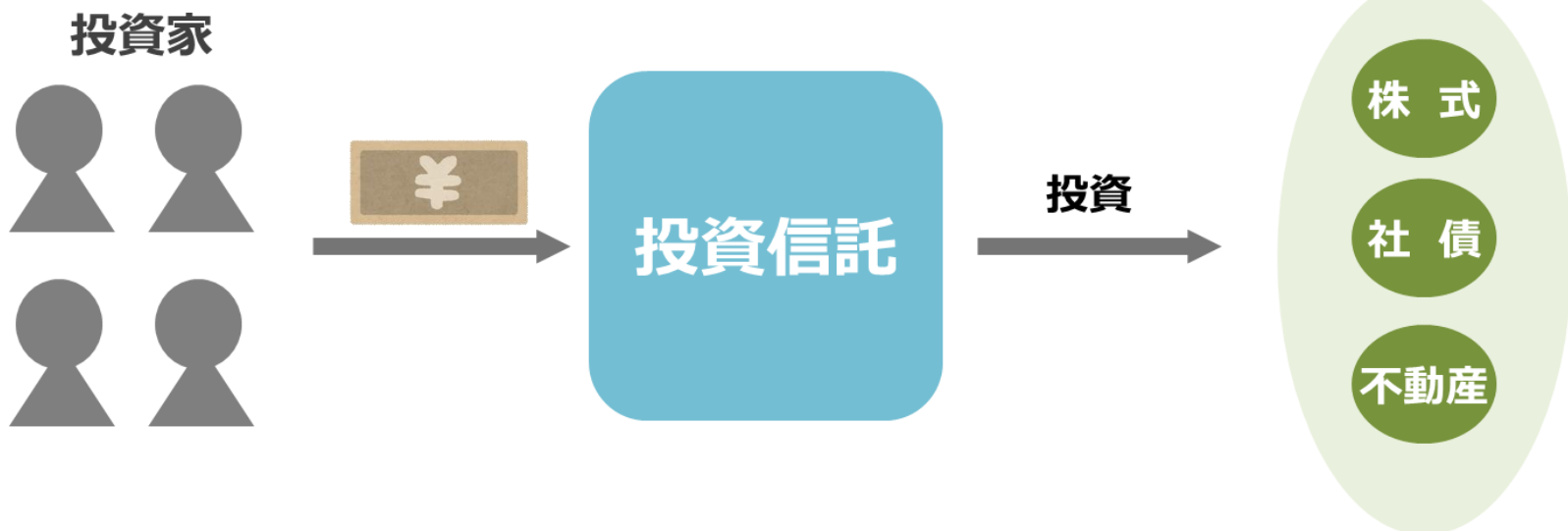
⇒ 株式は、**安全性は低い（△）**が、**高い収益性（◎）**が期待できる。  
**流動性は高い（○）**。



## 4-9. 主な金融商品の特徴③

### 投資 信託

- ・ 多くの人から集めたお金を、1つにまとめて大きな資金にし、**株式や債券**などに**投資する仕組み**
- ・ ファンドともいう
- ・ 株価の変動などによって、価格が日々変動する  
**(元本は保証されていない)**
- ・ 少ない金額から購入できたり、分散投資もしやすい



⇒ 投資信託の**収益性、安全性は、投資対象次第**。**流動性は高い (○)**。



## 4-10. 主な金融商品の特徴まとめ

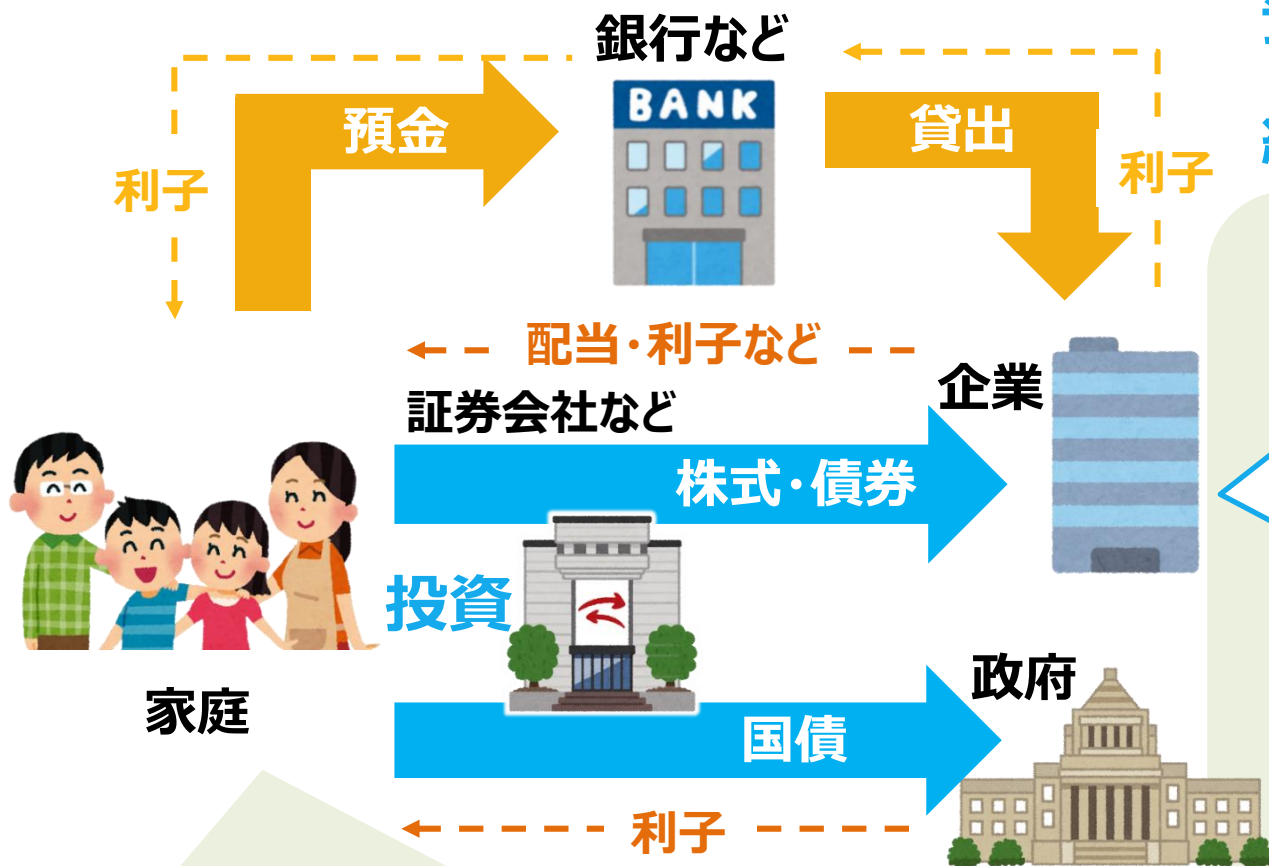
	安全性	収益性	流動性
預金・貯金	◎	△	◎
株式	△	◎	○
債券	○	○	△
投資信託	△～○	○～◎	○

⇒ 3つとも◎の金融商品はありません。目的に応じて使い分けましょう。





## 4-13. 預金と投資



預金や投資したお金は  
経済活動に使われる

**設備投資**  
商品・サービスの提供  
株主への配当  
従業員への給与

**公共サービス**

私たちの生活が  
より豊かで便利に



### まとめ（4章のポイント）

- (1) **目的別に金融商品を活用**しながら、自分に合った資産形成を行い、将来に向けて準備しましょう。

---

- (2) お金を預けると利子をもらえ、お金を借りると利子を払わなくてはなりません。**利子は金額、利率は%**で示されます。

---

- (3) 元本のみで利子がつくことを「**単利**」、利子も運用すれば利子にも利子がつくことを「**複利**」といいます。

---

- (4) 金融商品の3つの基準「**収益性**」「**安全性**」「**流動性**」を全て満たす商品はありません。目的に応じて使い分けましょう。

---

- (5) 「**預貯金**」「**債券**」「**株式**」「**投資信託**」の特徴を知りましょう。

---

- (6) 投資とは自分の資金を経済活動に提供することで、利益の一部を受け取ることです。経済活動により、**私たちの生活がより豊かで便利**になります。



## 5 「借りる」



## クイズ

?

友達と海外旅行に行くので、金利16%で20万円を借りた。毎月5,000円ずつ返済する場合、返済には何年かかり、総額いくら返すことになるでしょうか？

- ① 1年、約21万円
- ② 3年、約25万円
- ③ 5年、約29万円





## 5-1. 「借りる」とは

(1) お金を「借りる」とは、**将来の収入の先取り**です。

---

(2) 住宅のような高額のもものは、必要な金額を貯めるのに時間がかかることが多いので、多くの人**が住宅ローン**を利用します。

---

(3) お金を「借りる」と一般的に**利子（金利）**が発生します。

---

(4) 消費者ローンやカードローンなどローンを利用する際は**借り過ぎに注意**が必要です。

---

(5) **後払い（クレジットカード）**も、分割払いやリボ払いでは手数料（実質的には金利）が発生します。

---



## 5-5. お金を借りる

- (1) 借りる前に返済のイメージを持ちましょう！  
(毎月の返済額や返済期間を確認する)
- 

- (2) 金利に注意しましょう！
- 

クレジットカードなどでは、年収の1/3を超える金額を借りることはできません。

- (3) 収入があっても、資金使途にギャンブルなど不自然な点がある場合は借りられません。
-



## まとめ（5章のポイント）

- (1) お金を「借りる」と一般的に利子（金利）が発生します。**元本と利子、両方を返済**する必要があります。

---

- (2) **クレジットカード**の利用もお金を借りることになります。**手数料**（実質的には金利）が発生します。

---

- (3) 借りる前に**返済のイメージ**を持ちましょう。  
（毎月の返済額、返済期間、返済総額を確認する）

---

- (4) **金利**や**借り過ぎに注意**が必要です。

---

- (5) 必要に応じて、**奨学金**の仕組みを理解し活用しましょう。家計管理をしっかりと、計画的に返済しましょう。

---



## 6 金融トラブル





## クイズ



金融トラブルの相談窓口は？

- ① 117番
- ② 171番
- ③ 188番





### 6-5. トラブルを避けるには



トラブルを避けるには、どうすればよいでしょうか？

#### 鉄則は3つ！

(1) **おいしい話には気をつける**

「ローリスク・ハイリターン」はあり得ない＝「おいしい話」は存在しない。

(2) **向こうから近寄ってきてもしっかり断る**

「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮は無用。「いりません」とはっきり言いましょう。

(3) **万がートラブルに遭っても、決して諦めない**

ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで道が開ける。



## 6-6. トラブルに遭ってしまったら

### 悪質な業者との契約の取り消し・無効

- (1) 未成年者による法律行為 **➡ 18歳になったら取消せません (2022年4月より)**  
→ **民法** (親などの同意がない等の法律行為の取り消し)
- (2) 不当な契約条項、不当な勧誘による契約  
→ **消費者契約法** (条項無効、契約取り消し)
- (3) 訪問販売、訪問購入、電話勧誘、エステ、語学教室、マルチ商法、内職・モニター商法  
→ **特定商取引法** (クーリング・オフ制度による解約など)  
→ 通信販売 (ネット通販含む) はこの法律によるクーリング・オフの対象外!  
但し、事業者は返品の内容等を表示する要。表示がない場合、8日間は返品が可能 (送料は購入者負担)。  
\* いずれも期限・時効があるので、早めに相談窓口で対処法を相談しよう。

### 消費トラブル等に関する相談窓口

- (1) **まずは188番 (いやや!) に電話**  
→ 消費者ホットラインが、消費生活センターの相談窓口を案内
- (2) 金融サービスについては、金融庁や業界団体等が相談窓口を設置



### まとめ（6章のポイント）

- (1) **金融トラブルの手口**を知りましょう。  
「絶対に儲かる」はありません。

---

トラブルを避けるには、①**おいしい話**には気をつける、②向こうから近寄ってきて**はっきり断る**、③万が一トラブルに遭っても、**決して諦めない**ことが大切です。

---
- (2) **決して諦めない**ことが大切です。

---
- (3) **契約の取り消し・無効**を求めましょう。

---
- (4) また、**188番**（消費者ホットライン）に電話して相談しましょう。

---



## 7 まとめ



- (1) **ニーズとウォンツ**に分けて、お金を賢く使いましょう。

---
- (2) 家計管理をしっかりと行い、**貯蓄できる仕組み**を作りましょう。

---

自分が人生でやりたいことを考え、**ライフプラン**を立てましょう。
- (3) また、「教育」「住宅」「老後」という人生の**3大費用**を計画的に準備しましょう。

---
- (4) ライフプランに合わせて、**社会保険、資産形成、民間保険**の利用を組み合わせてみましょう。

---
- (5) **金融商品の特徴**を理解し、目的別に金融商品を活用し、将来に向けて準備をしましょう。



- (6) 投資とは自分の資金を経済活動に提供することで、利益の一部を受け取ることです。経済活動により、**私たちの生活がより豊かで便利**になります。
- 
- (7) お金を借りる際には、事前に**返済のイメージ**を持ちましょう。**金利や借り過ぎには注意**が必要です。
- 
- (8) **金融トラブルの手口**を知り、トラブルを避けましょう。トラブルに遭遇してしまったら、**188番**に電話して相談しましょう。
- 
- (9) **キャッシュレス**の活用が進んでいるように、これからも新しい金融商品・サービスがでてきます。今後も必要な知識を身につけ、うまく活用しましょう。
- 
- (10) この講座をきっかけとして、みなさんが少しでも「**金融**」に興味を持ってくれたら幸いです。